

韓国・極東問題研究所および関西地域北朝鮮研究の 専門家懇談会を開催

2025年3月29日（土）、立命館大学東アジア平和協力研究センターは、韓国の極東問題研究所と、関西地域における北朝鮮研究の専門家間の懇談会を開催いたしました。

本懇談会では、歴史、メディア、外交、安全保障問題など、多様な分野で北朝鮮研究を行う日本と韓国の専門家が集いました。2024年初期から打ち出された金正恩政権の「敵対的二国家論」に対する解釈や今後の対外政策の展望について、活発な議論が行われました。

近年の日本と韓国における北朝鮮研究の動向についても意見交換がありました。その中で、次世代の北朝鮮研究者らの間で、とりわけ金正恩政権に関する研究に関心が集中していることが共通点として挙げられました。

グローバルレベルでの分断が深まる中、その懸念材料の一つである北朝鮮について、日韓の研究者による懇談会を行うことの意義と重要性を確認する貴重な機会となりました。

立命館大学東アジア平和協力研究センターでは言語や分野に囚われず、様々な研究団体との学術交流を積極的に行っております。

●詳細

日時 2025年3月29日（土）15:00-17:00

会場 立命館大学衣笠キャンパス 学而館 2F 研究会室 3

主催 立命館大学東アジア平和協力研究センター

●参加者

中戸祐夫（立命館大学東アジア平和協力研究センター センター長）

庵逄由香（立命館大学文学部 教授）

張瑛周（立命館大学東アジア平和協力研究センター 客員助教）

水野直樹（京都大学 名誉教授）

板垣竜太（同志社大学 教授）

森類臣（摂南大学 准教授）

金光云（慶南大学 教授）

趙眞九（極東問題研究所 日本研究センター長）

金相範（極東問題研究所 北韓研究センター長）

鄭ジェウク（極東問題研究所 米国研究センター長）

朴ヒョンジョン（図書室司書）

当日の写真

